

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 154号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2015年9月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
 身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

27年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して)	樹林公園
9月	6日 午後1時30分～ 白子湧き水・生き物観察会 総合児童センター主催	18日(金) 保全	12日 モニ1000 白子 16日 大坂保全	樹木名板取り付け(随時)
10月	25日 第2回・白子湧水群の 保全ボランティア体験会 講師増山晶子氏 (生物分類専門家)	17日 定期保全	10日 モニ1000 白子 14日 大坂保全	11月7日 昆虫さがし・森あそび

1. 3回目の初任者教師研修会・白子湧水群見学と講義 2015年8月4日

今年で3回目になる夏休み中の大切な事業として、初任者教員研修会で「和光市の自然環境の紹介」を行いました。今年は特に現地見学会を設け「実地研修及び講義」の両面で紹介しました。8時過ぎには学校教育課担当の近藤克代先生と市内の小中学校の先生方10名が白子コミセン前にすでに集合していました。当会の高橋勝緒氏を中心に、現地見学40分、その後コミセンの視聴覚室で40分の講義を行いました。前半の見学には「身近な自然を学び、自然から学ぶ場所・富沢湧水、大坂ふれあいの森」のチラシを作成し、これに沿って特徴的な湧水の湧く仕組みの見える地層と湧水利用の文化の富沢湧水紹介、大坂ふれあいの森では、湧水と斜面林が一体となった貴重植物等が生育できる環境についてご案内しました。実際の湧き水や斜面林の様子に先生方は驚いた様子でした。見学後には手際よく準備した視聴覚室で講義を始めました。大変熱心にメモを取り聴講されていました。講義では、地質と湧水の関連、和光市内の自然として樹林公園の森づくり、新倉ふれあいの森の竹林や貴重植物の紹介など、画像を交えて市内の学校教育に役立つと思われる特徴、さらに第四小3年生への市内を知る学習、5年生の林間学校に役立つ「校内自然観察会」、中学生対象の「夏休み環境保全ボランティア体験会」など、当会が取り組んでいる環境学習を紹介しました。今年も猛暑のなかでも、早朝の時間を活用した楽しみながらの研修会となりました。学校では大変お忙しい先生方ですが、充実した時間を過ごしていただいたようです。現地の湧水環境を生かす授業に役立てていただければ幸いです。また会でもご協力できれば幸いです。

富沢湧水の地層を説明する高橋勝緒さん

後半も集中した講義でした



2. 第2回・白子湧水群の保全ボランティア体験会は10月25日 チラシあります
 今年度緑の埼玉づくり県民提案事業を進めています。環境課、都市整備課との共催事業です。